

## 2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	既存中層 R C 建物の耐震性能評価指針作成小委員会		主 査 名：稲井栄一 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)		委員長名：緑川光正 主 査 名：塩原 等
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>既存中層鉄筋コンクリート系建物の耐震性能評価手法の確立を目的として、既往の研究の調査・分析および技術のとりまとめを行う。さらに、耐震性能評価および耐震改修設計が可能となる等価線形化法を用いた耐震性能評価指針を作成する。</p> <p>初年度：既存建物・改修建物の静的地震応答評価手法および汎用構造解析ソフトの検証、解析ソフトによる評価例の作成 2 年度：既存建物・改修建物の耐震性能評価指針の原案作成 3 年度：既存建物・改修建物の耐震性能評価指針作成 4 年度：シンポジウム・講習会等</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：稲井栄一(山口大学)、 幹事：北嶋圭二(日本大学)、藤井賢志(千葉工業大学) 委員：倉本洋(大阪大学)、向井智久(建築研究所)、勅使川原正臣(名古屋大学)、松井智哉(豊橋技術科学大学)、梁川幸盛(構造計画研究所)、渡辺一弘(UR 都市機構)、久保田雅春(i2S2)、尾崎純二(宇部興産)、以頭秀司(竹中工務店)、岡野創(千葉大学)、田子茂(TAGO 建築工学研究室)、岡功治(大本組)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>既存評価法 WG：応答評価法に関する指針の作成 既存評価例作成 WG：汎用解析ソフト(段階的耐力喪失モデル)を用いた耐震性能の評価例・耐震補強例を作成する。</p>		
2016 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 当初計画より遅れたが、汎用構造解析ソフト(段階的耐力喪失モデル)を用いて 7F、1 1F、1 4F 建物モデルの評価例・耐震補強例を作成し、評価方法を検証した。</p> <p>2. 指針原案を部分的に作成した。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	1. 当初の計画より指針原案の作成が遅れ気味である。